

2009年12月15日

各 位

東武鉄道株式会社
オリックス不動産株式会社

業平橋・押上地区開発計画(東京スカイツリー®計画)の複合型施設内に オリックス不動産による都市型水族館を開設

東武鉄道株式会社(本社:東京都墨田区、社長:根津 嘉澄、以下「東武鉄道」)とオリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:山谷 佳之、以下「オリックス不動産」)は、東武鉄道と東武タワースカイツリー株式会社が進める東京都墨田区業平橋・押上地区における「東京スカイツリー計画」の多機能複合型施設・西街区において、オリックス不動産が運営する「(仮称)墨田水族館」を開設することで基本合意しました。

「東京スカイツリー計画」は、「Rising East Project」として、江戸、東京の文化を受け継ぐこの地域で「アトリエコミュニティ」「やさしいコミュニティ」「開かれたコミュニティ」をコンセプトに、高さ634mの「東京スカイツリー」を核とする多機能複合型施設の開発を、2012年春開業を目標に進めています。「(仮称)墨田水族館」は、「やさしいコミュニティ」の中核施設として、単なる展示型的水族館にとどまらず、憩いの空間、学習機能を兼ね備えた都市型的水族館として開設されます。

オリックス不動産は、2004年4月より、神奈川県とのPFI事業である「新江ノ島水族館」を運営しており、エデュテインメント*1型水族館として、イベントやショー、体験学習プログラムなどを積極的に行う地域密着型的水族館として人気を集めています。

オリックス不動産は、隅田川を中心に水や魚に親しんできた文化のある地に、「(仮称)墨田水族館」を開設し、「水族館のある暮らし」を体感していただけるよう、「新江ノ島水族館」での運営ノウハウを生かし、地域にくらす方々に愛される「文化・交流・賑わいの拠点」や学校教育の枠を超えた「環境教育の場」として、新しいライフスタイルを発信、提供してまいります。

具体的な施設内容や運営方針、正式名称などについては、決定次第ご案内いたします。

*1 教育(エデュケーション)と娯楽(エンターテインメント)を合成した言葉。

以上

東京スカイツリー計画に関するお問い合わせ先

東武鉄道株式会社 広報部 野澤・網 / TEL: 03-3621-5640

(仮称)墨田水族館に関するお問い合わせ先

オリックス不動産株式会社 社長室 永井・中村 / TEL: 03-3435-3411

【(仮称) 墨田水族館 / 施設概要】

施設名称：(仮称) 墨田水族館

開設場所：多機能複合型施設内の西街区商業施設棟 5～6階

契約面積：約 7,800 m² (バックヤード含む)

開業予定：2012 年春

【(仮称) 墨田水族館 / イメージ画像】



内観 (イメージ)



内観 (イメージ)

参考

「東京スカイツリー計画」の概要

【施設概要】

所 在 : 東京都墨田区押上一丁目
構 造 : 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造
規 模 : 地下3階、地上31階
敷地面積 : 約36,900 m²
延床面積 : 約230,000 m² (タワー部分含む)

【開発コンセプト】

3つのコンセプトで下町文化の歴史を受け継ぎつつ、「東京スカイツリー」を中心とした新しい都市文化の創造発信拠点の形成を目指しています。

〔アトリエコミュニティ〕

日本、下町のものづくりのDNAを継承し、人々の交流が、新たな都市文化を創造するコミュニティ。

〔やさしいコミュニティ〕

人に、地球に優しく、災害に強く、安全で安心して暮らせる、潤いと活気に満ちたコミュニティ。

〔開かれたコミュニティ〕

先端技術、メディアが集積し、新しい日本、新しい東京を、世界へと発信するタワーを核としたコミュニティ。